

佐賀中学校

『人間を大事に』

〜自他ともに

大切にすることができよう

校長 谷 範浩



◆はじめに

本校は『人間を大事に』を学校教育目標とし、「人権・同和」教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にしなが、全校生徒81人で、日々の授業や部活動、さらに生徒会活動や学校行事にと、全校を挙げて取り組んでいます。

今年、『佐中祭』が始まって15周年になります。すっかり地域の行事として定着し、毎年、多くの皆さんが楽しんで

にしてくれています。今年も昨年同様、雨の中でしたが、6月27日に開催しました。生徒一人ひとりが、役割を分担し、3年生を中心として、それぞれの店舗で活躍している姿が印象的でした。また、部活動や地域の皆さんの店舗やキッズダンス・和太鼓・バントワリングなどのステージもあり、佐中祭をさまざまな形で盛り上げてくれました。

◆「基礎学力の定着と充実」

◆「授業改善と家庭学習」

本校では、昨年度から特別支援教育を柱にした学校づくり指定事業を受け、校内研究テーマを『自ら学ぶ力』を育てる指導方法の研究、考え、かわり、つながり、高まるユニバーサルデザインに基づいた授業づくりを通して、『充実』および『仲間づくり』を推進するために、「学力向上プロジェクト」・「仲間づくりプロジェクト」の2部会を中心に校内研修を充実させながら取り組んでいます。

下の表は、本年度実施した標準学力調査における佐賀中学校の学力の状況です。3年生は、全国学力学習状況調査

標準学力調査結果 (全国を1とする)

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	1.11	1.19	1.27	0.93	
2年	1.03	0.88	1.18	0.94	1.02
3年		0.99			1.09

を実施した関係で、英語と社会のみ実施しています。1年生は、理科が全国平均を下回ったものの、各教科とも全国平均を上回っています。2年生は、国語・数学・英語が全国平均を上回り、社会と理科が下回る結果となっています。1・2年生とも数学の伸びが顕著に見られました。3年生は、英語が全国平均を上回ったものの社会科はわずかに下回っています。

学年や教科によって、それぞれ課題がありますが、基礎学力の定着を図り、学力を向

上させるためには、日々の授業の充実と家庭学習を定着させることが基本となります。

今年度は、形成テスト(授業始めの5分間テスト)を導入した授業づくりのスタンダードの取り組みや、ICTの充実を図るとともに、ライオンズ(パソコン教材)の活用や、ホワイトボードを全生徒に配布し、授業で活用しながら、だれもが「わかる、できる」授業づくりを目指しています。

◆「仲間づくり」

◆「生徒会活動や学校行事を通して」

本校では、授業だけでなく生徒会活動・部活動や学校行事を通して、仲間づくりを進めています。その中でも本校の3大行事といえるのが、「佐中祭」「運動会」「人権集会」になります。

生徒会執行部や3年生を中心にさまざまな活動に積極的に取り組みながら、『自他ともに大切にすることができよう』と頑張っています。



◆「防災教育」

本年度も、地震・津波から命を守る防災教育を積極的に推進し、自らの命を守るために「主体的に行動し、正しく判断できる力」を育てる取り組みをしています。

防災教育の目標を「人間を大事にする」とし、防災学習を深めているところです。参観日に保護者と一緒に避難訓練を実施したり、保育所・小学校と連携しながら、今後とも学校と家庭・地域とともに、命と生活を自ら守るための防災教育の充実を、より一層図っていききたいと思います。

